


退職者 NO.91  
**こだま会報**



# まちからむらから一人ぼっち の高齢者をなくそう



雪遊び (雨宮和雄さんの作品)

## 目次

- ・表紙写真／コラム散歩道……………①
- ・楽しい趣味の会…②③  
歴史教室／農業体験／  
こだま俳壇／手作り文  
化祭／薬膳料理／予告
- ・会員紹介 (高木みどり  
さん)……………④
- ・BOOK／県庁はいま②  
……………⑤
- ・健康講座……………⑥
- ・県職員9条の会平和の  
集い／輝け高齢期かな  
がわの集い／県自治労  
連退職者会総会…⑦
- ・絵手紙／映画随想／春  
の小旅行案内……………⑧

息子と孫に限定公開することにしました。「tonbi」という名前を付けたのは、家の上を沢山のトンビが輪を描いて飛んでいるからで、頭の中をぐるぐる回っている思いを連想させます。今日の天気を書いたり、朝飯

練習を始めたのです。

ブログには「tonbi」と名前を付け、

## ブログ・デビュー

米山 東伊

日本は太平洋戦争に向かって突き進んで行ったのだ。そのことを書いて

いる半藤一利氏の「昭和史」に引か

れて、昨年の秋9月に訪ねた「赤い

夕日の満州・ノモンハン」の現地は、

いまは中国国境の向こう側。63連勝

をした大横綱・白鵬の故郷モンゴル

領になっていて、中国側からは行く

ことが出来なかった。

尖閣諸島沿岸で中国漁船衝突のビ

デオがGOOGLEのユーチューブに

流れた、とラジオが言うので早速

ユーチューブ (YouTube) の

動画をみた。もっと早く公開さ

れていたも構わない内容の動画

だと思った。延坪島 (ヨンピョ

**散歩道**  
 ＊ ＊ ＊  
 ホームページよりも気楽に作れるという「ブログ」、つぶやきを書く「ツイッター」等という言葉が使われ始めてからだいぶ経ちましたが、やっと私もブログデビューをしました。

ウエブ上の日記「ブログ」には本当のことは書けないとか、日記とは自分のために書くもので他人に見せるものではないとか、公開するからには恥ずかしくないものを、などと考えて二の足を踏んでいました。

ところが、我が家に引き込んでいるケーブルテレビ会社が、「追加費用なしでブログを開設できます」というし、ブログを開設しても公開・非公開・限定公開などがあることが解ったので、非公開ならば気兼ねなしに書けるからとブログの練習を始めたのです。

何を食べたかを書いたり、新聞・ラジオ・テレビのニュースの気になる言葉を抜き書きしたりします。孫娘から「見たよ」などとコメントが帰ってくるとうれしくなる。最近の「さび」の記事をこだま会の皆さんに、以下限定公開します。

＊ ＊ ＊

楽しい趣味の会

将軍実朝の暗殺と三浦一族

歴史教室 講座

神奈川自治会館で11月8日、歴史教室(講座)が開催され、23人出席しました。テーマは「将軍実朝の暗殺と三浦一族」。講師は中村猪一郎先生。

建保7年(1219)正月27日、夜になると二尺の大雪。この夜、鶴岡八幡宮では、将軍実朝の右大臣拝賀の式典が盛大に行われていた。

公暁による実朝暗殺は、式典終了後に起こった。その惨劇の場所であるが、小生が承知しているには、八幡宮の階段際のイチョウの陰から飛び出して実朝を暗殺した、であったが、講師は、それは江戸時代の芝居などでのつくり話。『吾妻鏡』にはそうした記述はなく、「石段の際」



とある。つまり、石の階段で石段のことだが、警護が薄くなる石段の上の本殿ではないか。何故なら、公暁は八幡宮の別当で、容易に近づけたとのお話。

またその理由は、父親の二代将軍頼家に代わって将軍となった実朝への復讐に燃える公暁単独犯が、今までの小生

の認識。そんな単純なものではないと講師。

戦前までは、北条義時ということであった。それは後鳥羽上皇に逆らったことから、そのくらいのことはやっただろうとのこと。

しかし、実朝を殺して誰が得をしたかということに絞ってみると、三浦義村である。作家の永井路子さんが『炎環』という小説で、「黒幕三浦義村」説を主張してから、その見方が強まっているとのこと。

段丘の畑、果ては青空、初冠雪の富士山がそびえる。大井町の「農村公園」には、「里山ふれあい祭」の賑がはためいている。

坂道を気持ちよく散策

10月3日(日)、小田急「新松田」駅9時集合、タクシーで祭りの会場の公園に行く。ここで参加費千円を納めると班分け。20人一組となる。第4班に「こだま会」一同7人。

①諸掘り(2株)、②落花生掘り(ビニール袋1杯)、③蜜柑狩り(ビニール袋1杯)、④花刈り(ヒマワリ2本、コスモス5本)の順に、作業に出発する。

誘導する係や、収穫物を運ぶ小型バンも用意され、順次に畑をめぐる歩く。おかげで大いに助かり、3kmの坂道を気持ちよく歩いた。

心地よい風と日射し

「農村公園」に戻って昼食。おに

ぎり3個と豚汁を貰い、一同車座になつていただく。働いた(?)後の食事の美味しかったこと。獲ったミカンの酸味、心地よい風、日射し。今日の半日、本当の農体験だったのかな。

生きている「結い」の活力

この「里山ふれあい祭」は、大井町と地元自治会共催のイベントで、担当の自治会ごとに使う畑が変わっていく由。農村の良さを知ってもらおうと始まったそうだが、組織的かつ協同的、様々なアイデアには感心した。農村の「結い」の活力は今も生きている。

帰路、荷物は重たかったが、心は軽やか、楽しい1日だった。

(木村武子)

公暁の乳母の夫が義村であり、義村の息子の駒若丸は公暁の弟子である。公暁と義村は非常に親しい仲。公暁が将軍となれば、宿敵北条義時に代わって執権になれた。実朝と同時に義時をも暗殺することを公暁と諮っていたが、義時暗殺が失敗すると公暁を殺害。

死人に口なしと実行するなど、事実はあまりに芳しくないが、この時代の武士の生き方として、北条一族からの危機感迫る三浦武士の本位ではなかったのか、憶測の域を出ないが、と講師は結ばれた。

小生にとっては、まことに真に迫る講話でありました。(秋元孝男)



「こだま俳壇」(12月)

六地藏帽子新たに年用意 横川美代子  
 蕎麦畑荒地となつて月歌歌 井村 友彦  
 八十路なお歌と俳句の年新た 佐藤 安弘  
 買食いのこの国案じ鍛始 小川 水草  
 初春や夢持つことを忘れずに 松尾佐知子  
 去年今年ひとり棄て湯を聞きにけり 田中 一男  
 寄植に若水与え初景色 白石 為康  
 冬風ぎて魚一尾の影もなし 鳥海 敏雄  
 音信を兎の絵に込め寿ぎし 高橋 和江  
 子も孫も皆んな揃ひて年始め 島田多嘉子  
 元旦の富士の白さや引き締まる 石崎 博美  
 冬の影迫れり家の軒下に 白井保次郎  
 一年の不安持ち越し年明け 中村 佳子  
 箸紙や少女のうなじ清々し 坂 守  
 銅鑼の音の心に沁みて年明くる 三井 光子  
 年女ピンクのうさぎ賀状書き 鈴木志げ子  
 来し賀状一行の添書きのあり 木村 武子  
 くらまより宝船めく野菜売り 太田 土男

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室 (散策) <第49回>  
 テーマ 一の宮「寒川神社」を訪ねると  
 とき 3月14日(月)  
 集合 JR「宮山」駅前に午前10時  
 会費 500円  
 ガイド 中村猪一郎会員  
 申込先 こだま会事務所045 (212) 3179  
 又は045 (361) 0112 (佐藤喜治)
- 歴史教室 (講義) <第50回>  
 テーマ 頼朝の旗揚げに呼応した関東武士団  
 とき 6月13日(月)  
 13時30分~15時30分  
 ところ 神奈川自治会館 (予定)  
 会費 無料  
 講師 中村猪一郎会員  
 申込先 こだま会事務所045 (212) 3179  
 又は045 (361) 0112 (佐藤喜治)
- 俳句教室  
 月例会 (毎月第2木曜日13時~)  
 2月10日 3月10日 4月14日  
 ところ 神奈川自治会館 (予定)  
 指導 太田土男先生 (現代俳句協会)  
 会費 500円  
 申込先 こだま会事務所045 (212) 3179  
 又は井村友彦0463 (81) 4493
- 楽しい料理教室「春を食べる」  
 とき 3月12日(土) 11時~15時  
 ところ フォーラム南太田 (生活工房室)  
 京急「南太田」駅3分  
 会費 2000円  
 内容 菜の花寿司・野草の副菜  
 先生 飯塚武弘さん (会員)  
 申込先 こだま会事務局045 (212) 3179



「手作り文化祭」で交流

神奈川自治労連退職者会の「手作り文化祭」が11月3日、横浜市従会館で開かれ、こだま会からは演芸や踊り、俳句、写真、絵画、ビーズ手芸などで参加し、盛り上げました。演芸では川井弘次さん、稲本春雄



さん、叶井進一さん、加藤利秋さんが登場。加藤利秋さんは「勘太郎月夜唄」の曲に合わせて踊りを披露しました。

こだま句会からの俳句は出展者がふえました。油絵は亀井さんが12号の作品を出展。写真も3年前から展

薬膳料理教室

示しています。来年もみんなで文化祭を盛り上げましょう。(文・写真:青沼慶祐)

「風邪予防の薬膳料理」の会が11月25日、桜木町の健康福祉センターで開かれました。参加者は7人。亀井禎子会員を中心に、初めての会員をむかえ、おいしい会でした。

「黒豆ごはん」

黒豆をゆっくりじっくり炒つてから水につけることがポイント。米と一緒に炊く。

「山芋と人参のポタージュ」

炒めた玉ねぎと、山芋、人参を牛乳やスープ(キューブを使って)で煮てこす。仕上がりには赤いココ

の実を散らしてきれい!

「鳥とシイタケときんしん菜の煮物」

ユズの香りも豊かに。

「リンゴやバナナに蜂蜜や砂糖を甘みノデザート」

シナモンを加えて。

(山本文子)



私はいま三つの合唱団に入っています。どれも素晴らしい合唱団です。

コーロ・アンナ(横浜市港北区)

退職辞令の翌日に、復帰しました。というのは、85年から5年間歌っていたのですが、練習が月曜日(職場の休館日)から火曜日に変更になり、退団したのでした。結成43年。団員は16人で60代から80代。最高齢者は94歳です。

昨秋の「音楽堂おかあさんコーラス」の講評に、「さすがに素晴らしい発声から生まれる深い表現力。快く、心地よく聞けました。久しぶりに日本語の美しい合唱に出会った。これこそお手本」とあり、会場からのどよめきや、観客からの称賛の声は嬉しいことでした。2月のヨコハマ・コーラル・フェスト出場に向けて

# いまが“部活”な生活 合唱音楽の面白さを感じて

## 高木 みどりさん



2列目、左から5番目が高木さん

練習中です。

東京ハウプトコーア(東京都新宿区)結成10年の混声合唱団。40人の団員で、30代から40代と退職年代に二分化しています。大曲をじっくり

とりくみ、定期演奏会では指揮者をヨーロッパから招き、プロ・オーケストラと共演し、またヨーロッパの優秀な合唱団と共演することも目標としています。

私は07年に入団し、モーツァルトとフォーレの「レクイエム」、バッハの「ヨハネ受難曲」を2回、一昨年9月に、イタリアのクレモナで、ヴィヴァルディの「マニフィカート」と「グロリア」を現地の合唱団と共演しました。

ち密でハードですが、極める喜びがあります。日本語の合唱曲のほかに、ドニゼッティのオペラ「愛の妙薬」の合唱として、イタリアのオペラ歌手た

ちとも共演しました。舞台でアクトをつけて歌ったこと、楽譜出版記念の初演をしたことなど、初めての経験をさせてもらいました。3月に、T.トラエッタ作曲「スターバト・マリエル」(日本初演)をイタリア文化会館で演奏予定です。

### 晴れ晴れとした声で 清々しく

私は、教育学部音楽科に学びましたが、生来の声には恵まれていず、すぐに喉が痛くなり、実は、歌うことは大の苦手でした。85年に声帯を診察してもらい、ヴォイス・トレーナーを紹介されたのが、コーロ・アンナの指導者で、合唱に出会ったのです。

退職後のいま、時間に余裕があり、練習と曲目の解説や、音楽・歌詞・詩を調べたりすることができ、合唱音楽の面白さを感じています。合唱は共同作業で、アマチュアのもので。発声と声楽の個人レッスンを月1回受け、メンテナンスしながら晴れ晴れとした声で清々しく歌えることを目標に、これからも歌っていきたいです。



BOOK

『永遠の0』

百田尚樹

0とはなに? 「神風で戦死した海軍航空兵」としか分からない祖父は、どんな兵士だったのか。どんな死に方をしたのか、孫の慶子・建太郎のルーツ探しが始まる。

祖父の軍歴は厚労省に問い合わせ「宮部久蔵、大正8年生、昭和9年、海軍入隊、昭和20年、南南諸島で戦死」と分かる。いくつかの戦友会を辿り、パイロットの戦友会に至り、祖父の友人が芋づる式に見つかり、会うための行脚に出る。

「奴は海軍航空隊一の臆病者だった」「パイロットとしては超一流の技」など



聞く。宮部は「娘に会うまでは死ねない。妻との約束を守る」と言い続けた男。天才だが臆病者の彼は、なぜ零戦に乗り特攻として命を落としたのか。感動的な生き様があらわになっってくる。プロローグ・エピローグの、真珠湾やカミカゼで攻められた米兵士の語りもよい。著者は、この作品で作家デビューを果たしている。講談社文庫10年7月刊 876円(税別)。(木村武子)

白く輝くスキー場。そのゲレンデのどこかに「爆発物を仕掛けた」との脅迫状が届く。今年の雪は充分。スキーヤーやスノーボーダーのお客の出足も順調と喜んでいた矢先だった。事務所主任の倉田、ゲレンデ整備の辰巳、リフト安全整備の津野、コースパトロール担当の根津、そして後、仲間となる絵留。

雪面で楽しく滑っている人々が人質だ。事務所の面々はお客を助けたいと願う。だが、身代金3千万円の要求に対して、会社は警察に届けずそれに応じる。要求はエスカレート。金の受け渡しのかげ引き。パトロール隊は犯人らしき人影を追ってスキーを飛ばす。滑走禁止エリアも自分の庭。スキー場の低迷ぶり、町の過疎化をバックに、雪上で働く者達、スキーやスノーボードで楽しむ人々を鮮やかに描きあげる。そして読者をサスペンスの世界に誘い込んで行く。

著者は大阪生まれ。エンジニアとして働く一方、推理小説を書く。江戸川乱歩賞、直木賞など受賞歴は豊か。その一つ『秘密』は映画化されている。実業の日本文庫。10年10月刊。649円+税。(木村武子)

『白銀ジャック』

東野圭吾

2 県庁はいま

働く者、住民の目で見ると  
問題だらけの「指定管理者制度」

皆さん「指定管理者制度」をご存知ですか? 簡単に言うと、公の施設の運営を民間

業者に1年、3年、5年、10年などの期間を定めて委託する制度です。

05年の津久井やまゆり園を皮切りに、都市公園や県民ホール、ふれあいの村などが指定管理者制度に移行し、YMCAや西部造園、サカタのタネ、東急コミュニティなどの民間企業が参入してきました。

指定管理者制度は、不況化で自治体から仕事を

得ること、自治体行政に携ることで会社のイメージアップにつながるなどの理由から、参入を望む企業が増えています

が、労働者や施設を利用する住民からみると問題だらけの制度です。

例えば、複数年で指定された指定管理料には、職員の賃金のベースアップ分は入っていません。また、指定管理期間が終わると次の募集が行われ、それまで運営していた業者が落ちる可能性が常についてまわります。

技術やノウハウを蓄積した職員を安定して雇うことができず、有



期契約の職員で施設の運営が行われます。そのため全国を見ると、例えばプールや青少年施設などで死亡事故などもおきています。昨年選挙が行われた施設の中に「ふれあいの村」があります。県内に三つの村があり、(財)ふれあい教育振興協会が長年にわたって運営してきました。5年前、指定管理者制度に移行して一つの村が民間に指定されましたが、次期の応募をあきらめて解散する事態になりました。財団で長年この村の運営に携わってきた職員に蓄積された技術とノウハウを、神奈川県は手放してしまったのです。

指定管理者制度と同様に入札も随意から競争となり、仕事をとれず、また低利入札の横行で、労働者の雇用不安と賃金の低下が顕著です。このように神奈川県は変貌してしまいました。地域経済の立て直しをしなければならぬ県が、自ら官製ワーキングプアを生み出し、地域経済を疲弊させている。この状況を今年の知事選挙で変えていきましょう。

(神奈川県職労連執行委員・鈴木恵理子)

## 高齢期の健康な過ごし方

市嶋英智子さん(保健師)の話



季節的なことを含めて、高齢期特有のこういうことに気をつけて欲しいということについてお話しします。

### ①風邪とインフルエンザ

#### ● a 何が違うのでしょうか。

すでに、インフルエンザによる学級閉鎖が北海道や関東で出ています。今シーズンは、予防接種が季節型ワクチンと新型ワクチンと一緒にっており1回受ければよいので、ぜひ受けて下さい。インフルエンザの特徴は、悪寒がしてガクガク震える、頭が割れるほど痛い、関節が全身的に痛く、38℃～40℃の高熱が3、4日続く等です。

また、だるさが尋常でなく、動けない、電話にも出られない等もありますが、高齢者にとって一番怖いのが、肺炎とか脳症とかの合併症(粘膜の弱っているところに強いウイルスが入ってきて起こる)です。時に、意識を失うことや痙攣を起こすこともあります。「かかったかな」と思ったら、すぐに医師のところへ行ってください。48時間以内がよい。というのは「リレンザ」「タミフル」といった新薬は、早い時期でないと効かないためです。

#### ● b 予防と対策

まず、手洗いとうがい、そして、たっぷり睡眠をとることです。昼寝が日課になっているような方は、午後、してもよいが16時までで、20～30分位が限度です。それ以上長くなると、夜眠れなくなってしまう。

次に、ビタミンA(緑黄色野菜や、うなぎ、穴子、レバー、卵、チーズ等)やビタミンC(イチゴ、キューイ、みかん、かぶ、さつまいも等)をとることです。

ビタミンAは、皮膚や粘膜を強くし、風邪を引きにくくしてくれます。このビタミンAは、脂溶性なので油と一緒にとると(ピーマン等の野菜は生で食べるより油でいためた方が)、体への吸収率は生の時の30%から80%まで上がります。(次号に続く)

## 加齢は華麗に エンジョイ♪ しましょう♪

こだま会  
健康講座



「高齢期の健康な過ごし方」をテーマに昨年の11月19日(金)、午後1時30分から神奈川県北中央医療生協本部(相模原)でこだま会の「健康講座」が開かれました。

まず北中央医療生協の保健師・市嶋英智子さんから「高齢期の健康な過ごし方」加齢は華麗に、エンジョイしましょう」の話がありました。

講座の最後には、「付



セラバンド体操を指導する加藤さん

け足し言葉」(おどろき もものきさんしよのき等16の言葉)を全員で唱和しました。これは、大きな声で言うと言液の分泌もよくなり、粘膜が潤い、風邪も引きにくくなるということです。

また、口やペロの運動にもなり、発声もよくなるので、家でやってみましょうということでした。

講座に続いて組織部の加藤郁子さん(健康指導士)より、健康セラバンド体操(ゴムのバンドを使った体操)の実技指導をうけました。

その後の「懇談会」では、暮らしの中で楽しみにしていることや悩みごと等を、一言ずつ述べあい交流しました。講座の内容は左のとおりです。参考にして下さい。

(文・川瀬秀雄)



# 350人が集う 輝け高齢期!

第6回「輝け高齢期かながわの集い」が11月17日(水)、川崎市産業振興会館で開かれ、雨のなか350人が参加しました。

## 老人医療費無料化など「生命尊重の村づくり」の話を聞く

記念講演は、岩手県西和賀町(旧沢内村)で「生命尊重の村づくり」に携わった高橋典成氏(ワークステーション湯田・沢内施設長)。老人医療費無料化をはじめ、住民が主人公の「生命尊重の村づくり」を次のように話しました。

旧沢内村は昭和20年代後半、病気になるっても医者にかかれない貧困の



## 9条を生かす運動へ

### 県職員会 12・4 平和の集い

神奈川県職員九条の会は結成5周年を迎えた12月4日、横浜市内で「平和の集い」を開きました。佐伯事務局長は開会にあたり、これまでの「集い」や、「やっぱ九条イン横須賀」(10月9日)のとりくみなどを報告。「田園調布九条の会」や「戦争体験を語り継ぐ千束の会」「西湘の会」から地域の活動報告がありました。続いて「憲法をめぐる状況と九条を生かす運動へ」と題して岡田尚弁



はびこる村でした。人が人として暮らしていくことが大変な地域でしたが、(改)深沢晟雄村長は、「行脚と対話」

の政治をすすめ、「婦人が変らなければ」と婦人会づくりの先頭に立ちました。そして、社会教育を基盤とした村づく

りを実行し、昭和37年頃には自己責任から行政の責任で、「健やかに育ち、老後も安心」の医療費無料化が実現し、いま現在も医療負担の上限

を定め、安心して医者にかかれる制度を継続、たとえ首長がかわっても制度は変えられない。

## 新高齢者医療制度「改定」案の動きの注視を

基調報告で金子事務局長は、「高齢者のアンケートで『孤独死の可能性がある』と答えた人が40%を超え、単身者は60%超えている。新高齢者医療制度、介護保険制度の改定案の政府提出の動きを注視しよう」と報告しました。

午後のレセプションでは、童謡『山田のカカシ』の、「の」の時は右の人の肩を、「し」の時は左の人の肩をたく「脳トレ体操」などもあって楽しい集いでした。(鳥居伸太郎)

## 神奈川県 退職者会総会 自治労連

横浜市従会館で10月15日(金)、神奈川県自治労連退職者会第19回総会が開かれました。

県職労連退職者こだま会や横浜市従退職者会などから多くの代議員の参加のもとに開会。最初に、加藤会長が開会あいさつ。2009年度経過報告・決算報告・会計監査報告があり、拍手で承認されました。

続いて2010年度の活動方針案と予算案が提案され、これも承認されました。そして、新役員が提案された新たな役員が決まりました。年金改善をはじめ11の要求と「手づくり文化祭」のとりくみなどの運動への参加も承認されました。(田口 清)

### 新四役紹介(敬称略)

- 会 長 加藤 利秋 (県)
- 副 会 長 森田 謙一 (横浜)
- 副 会 長 斉藤 嘉雄 (鎌倉)
- 事務局長 高須 昌和 (横浜)
- 事務局次長 田口 清 (県)

鮮問題にふれ、国民世論の重要性を強調。引き続き運動を強めていこう呼びかけました。

(鳥居伸太郎)

加瀬代表は閉会挨拶で中国・北朝

# 絵手紙



松尾佐知子さんの作品



奥津弘久さんの作品

## 映画随想 6

時代が経過すると映画作品の評価も変わる。発表当時には圧倒的支持を得た作品も、時を経ると不当とも思われるほど無視される作家と作品がある。たとえば今井正の映画がそうだ。

今井正は明治45年に住職の子として生まれた。旧制中、高校生時代にマルクス主義と映画に傾倒、帝大を中退し映画界に入った。入社2年目にして『沼津洋学校』で監督に昇進した。

第二次世界大戦中は『望楼の決死隊』などの戦争高揚映画も製作した。戦後は一転して『青い山脈』などの民主主義社会の到来を高らかにうたい上げる作品を発表し、多くの支持を得た。

監督した作品は48本に及び、平成3年に79歳で没した。

さて、今井映画は邦画史上どのような評価を受けたか。その変遷をたどると、自ずから現在の日本と日本人の感性が浮かび上がってくる。引用するベスト・テンの順位は

世界で最も古い歴史を持つキネマ旬報選出のものである。

『青い山脈』（昭和24年）から『あにいもうと』（昭和51年）まで、今井映画は22本もの作品がベスト・テンに名を連ねている。

この本数は黒澤明に次ぎ、昭和映画史上2位となっている。特筆すべきはベスト・ワンに5本

### 今井正の映画

### 田中一男

の映画が選出されていること、これは今井ひとりの快挙である。『また逢う日まで』『にごりえ』『真昼の暗黒』『米』『キクとイサム』がその映画である。

それでは、公開当時圧倒的な支持を集めたこれらの今井映画のその後の評価を調べてみよう。

キネマ旬報では平成7年に104人の映画評論家等の選出による「日本映画オールタイムベスト・テン」を発表した。今井映画では27位『また逢う日まで』、52位『青い山脈』、100位『真昼の暗黒』が入っている。

また同社は、創刊80周年記念

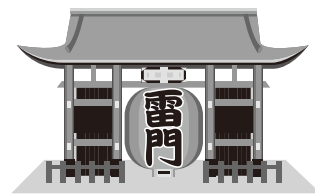
として平成11年にオールタイムベスト・テンを選出した。今回の選者は、監督、プロデューサー、脚本家、撮影監督など映画に携わる140人の投票である。ここでは26位の『また逢う日まで』、82位の『真昼の暗黒』の2本のみが100位以内に入っている。

発表当時に圧倒的支持を得た『にごりえ』『米』『キクとイサム』は全く支持を得ず、まるで忘れられた映画のような扱いをされた。発表当時と比べ社会も世相も大きく変わった現在、やむを得ないむきもあるがそれにして、と想う。DVDの鑑賞をお薦めしたい。

## 小江戸から 21世紀へ

「春の小旅行」のごあんない

- とき ● 4月13日(水)
- 雨天決行
- 集合 ● JR浜松町駅改札口10時集合
- 日程 ● 浜離宮 ↓ 隅田川(水上バス) ↓ 浅草 ↓ 押上付近からスカイツリー散策
- 費用 ● 交通費・入場料等自己負担
- 申込 ● こだま会事務局
- 045-212-3179



会報No.91  
2011.1.15

編集・発行  
神奈川県職労連退職者こだま会  
発行人 生方武羅夫

〒231-0023  
横浜市中央区日本大通り1  
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)  
FAX 045-212-3178 (代表)  
URL <http://www.kodamakai.sakura.ne.jp/>